



小笠原 哲二

(1903~1980)

- 1903 (明36) 3月10日、九戸郡軽米町18地割22番地に、父吉助、母ヒサの二男として生まれる。本名哲治。
- 1909 (明42) [6歳] 4月、町立軽米尋常小学校入学。
- 1914 (大3) [10歳] 4月、同高等科入学。
- 1919 (大8) [15歳] 4月、県立盛岡工業学校機械科入学。
- 1922 (大11) [18歳] 3月、県立盛岡工業学校機械科卒業。
4月、陸軍省航空廠所沢製作所に勤務。一方太平洋画会研究所に入所。鶴田吾郎、石川寅治、中村彝、等の指導を受ける。(この年、軽米に帰郷。大正15年頃まで折をみて上京、研究所に通う)
- 1923 (大12) [19歳] 10月、町立軽米尋常高等小学校代用教員となる。10月、第13回七光社美術展覧会(商品陳列館)に「工場」「暮る、冬の日」を出品。(舞田文雄、橋本八百二、五味清吉、深沢省三、萬鉄五郎ら)
- 1926 (大15) [22歳] 9月、尋常小学校本科正教員、図画科専科正教員の両免許状を取得。正教諭となる。
- 1927 (昭2) [24歳] 3月、軽米尋常高等小学校依願退職。11月、土井千代子(明治39年生まれ、盛岡市立仁王尋常小学校教員)と結婚、盛岡市小人町に新居を持つ。
- 1928 (昭3) [25歳] 10月、第18回七光社展に「みち」を出品。この年、東北産業展覧会に出品。
- 1929 (昭4) [26歳] 9月1日、長女幸子誕生。
10月、第4回素顔社展(商品陳列館)に「郊外の家」などを出品。
- 1930 (昭5) [27歳] 6月、第50回文部省中等教員検定図画科予備試験、同本試験筆記試験に合格。
6月、第5回素顔社展に「芍薬」などを出品。
7月、黒沢尻高等女学校教師嘱託となり、盛岡より通勤する。
- 1931 (昭6) [28歳] 10月、第1回岩手県洋画展に出品。
- 1932 (昭7) [29歳] 10月、第8回素顔社展に「裸婦」などを出品。
- 1933 (昭8) [30歳] 8月5日、岩手中学校教師嘱託となる。
10月、師範学校・中学校・高等女学校教員免許状を取得する。(文部省検定、西洋画・用器画)10月17~23日、第11回素顔社展に出品。
9月20日、長男博司、軽米にて誕生。
- 1935 (昭10) [32歳] 8月、県立盛岡工業学校(現盛岡工業高校)図画教師嘱託となる。昭和21年5月まで勤務。
12月、第13回素顔社展に出品。
- 1936 (昭11) [33歳] 9月、第14回素顔社展に「病院にて」を出品。
- 1937 (昭12) [34歳] 6月、素顔社会員展に出品。素顔社同人となる。この年、太平洋洋画展に出品。
8月、岩手絵画工芸展に出品。
8月、平館清七、荒浜栄悦等と、岩手教育美術協会を結成。
- 1938 (昭13) [35歳] 8月、光風会展に「ギターと静物」が入選。
10月22日、二男研二誕生。この頃、白日会展に出品。
- 1939 (昭14) [36歳] 第1回個展(川徳)を開催。
- 1940 (昭15) [37歳] 第2回個展を開催。
- 1941 (昭16) [38歳] 2月、第7回太平洋洋画展に入選する。
5月、岩手美術連盟(会長小泉一郎)結成され、幹事となる。
8月、第1回岩手美術連盟東京展に「きさらぎ」を出品。第3回個展(川徳)。
- 1944 (昭19) [41歳] 3月31日、岩手中学校教諭に任命される。上田小路179番地に転居。
- 1947 (昭22) [44歳] 盛岡市内高校学生美術連盟を結成、海野経とともに顧問となる。
6月、岩手美連春季展に出品。
10月、第1回岩手総合芸術祭に出品。
- 1948 (昭23) [45歳] 4月、岩手高等学校兼岩手中学校教諭に任命される。
- 1949 (昭24) [46歳] 4月、第4回個展(川徳)。
12月、第2回円周会展に出品。
- 1950 (昭25) [47歳] 5月、円周会展に出品。
7月、円周会小品展に出品。
- 1952 (昭27) [49歳] 11月、岩手県教員美術展に会員として出品。
- 1953 (昭28) [50歳] 9月、総合美術展に出品。
12月、第5回個展(川徳)。
- 1954 (昭29) [51歳] 10月、岩手美術展に出品。
- 1955 (昭30) [52歳] 2月、第6回個展(川徳)。
5月、中学校、高等学校第1級普通免許状を取得。
- 1956 (昭31) [53歳] 3月、第7回個展(自治会館)。
- 1957 (昭32) [54歳] 4月、第8回個展開催。
- 1958 (昭33) [55歳] 5月、第9回個展。
12月、新制美術展に「静物」を出品。第10回個展を開催。
- 1959 (昭34) [56歳] 3月、第11回個展(県商工館)。
12月、第12回個展(ル・モンド)。
- 1960 (昭35) [57歳] 6月、第13回個展(ル・モンド)。
9月、第14回個展(県商工館)。
11月、第15回個展(たちばな)。
- 1961 (昭36) [58歳] 6月、第16回個展(ル・モンド)。
9月、第17回個展。
- 1963 (昭38) [60歳] 11月、第18回個展(中村画廊)。
- 1964 (昭39) [61歳] 11月、第19回個展(中村画廊)。
- 1965 (昭40) [62歳] 10月、第1回岩手美術展に出品。
12月、第20回個展(盛岡画廊)。
- 1966 (昭41) [63歳] 10月、第20回岩手芸術祭に「夏の夕」を招待出品。
11月、第21回個展(エフワン画廊)。
- 1967 (昭42) [64歳] 5月、第3回岩手美術展(美術館建設運動)に出品。
11月、第22回個展(エフワン画廊)。
- 1969 (昭44) [66歳] 3月、岩手高等学校定年退職。
- 1970 (昭45) [67歳] 5月、岩手美術記念展に出品。
11月、第23回個展(自治会館)。
- 1971 (昭46) [68歳] 11月、第25回岩手芸術祭に「教会の丘の春」を出品。
11月、第24回個展(自治会館)。
- 1972 (昭47) [69歳] 12月、第25回個展(自治会館)。
この年から小泉賞選考委員となり、53年まで担当。
- 1973 (昭48) [70歳] 4月7~11日、岩手県美術展(県民会館=同館落成記念)に出品。
10月、第27回岩手芸術祭に「吹上御門」を出品。
12月、第26回個展(自治会館)。
- 1974 (昭49) [71歳] 11月、岩手教育芸術祭に招待出品。
12月、第27回個展(自治会館)。
- 1976 (昭51) [73歳] 11月12~15日、第28回個展(自治会館、最後の個展となる。案内文を夫人と共同執筆)。
- 1980 (昭55) [77歳] 3月31日、逝去(享年77年)
- 1981 (昭56) 5月27日~6月4日「追想の小笠原哲二展」県民会館、同展実行委員会主催。

※この年譜は「追想の小笠原哲二展」の年譜から抜粋しました。